

県立青少年研修センター宿泊棟落成式

更なる利用者拡大を

県は22日、鹿児島県郡市利用者が約130人が出席して完成を祝った。田町の県立青少年研修センターで宿泊棟の新宿舎落成式を行い、関係者やセンター所長が「供用開始して以来、県内外から約270万人の方々に利用して頂いたが、築32年が経過し、老朽化と手狭



完成した宿泊棟(上)とテープカットで落成を祝う関係者。吉田町の県立青少年研修センターで

冷媒回収技術者登録講習会 "フロン資格試験"に挑戦

―鹿児島県で開き、約120人の受講者が冷媒回収の概要と具体例を学んで資格試験に挑戦した。

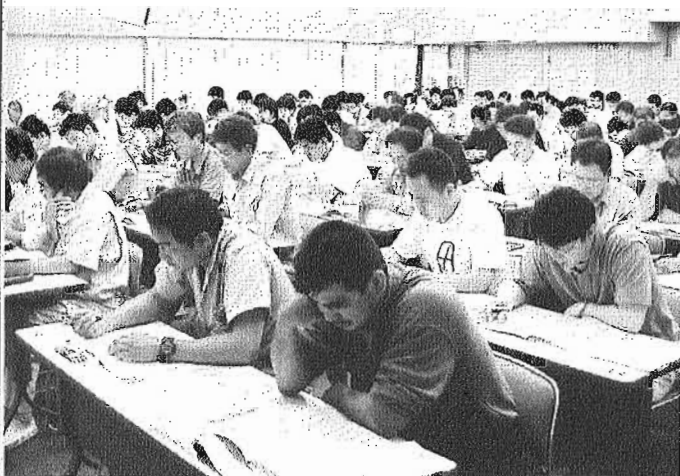
特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律が今年度から施行されたのに伴い、冷媒フロンを適正に回収する技術と知識を身につけた有資格者の養成が急務となっている。冷媒回収技術者としての技能習得と資格登録を目指す今回の講習会では、初めに川崎県立冷凍空調工業保安協会常務理事が資格認定の概要と制度の趣旨を説明。続いて、勘場勉、梅津建二両講師がフルオロカーボンと地球環境、冷媒回収の具体例、再利用・破壊、高圧ガス保安法などを5時間にわたって講義。その後、1時間の資格登録試験を行った。

試験結果は8月中旬頃、冷媒回収推進・技術センターから受験者本人に通知される予定。登録されたら、エレベーターを設置するなど全体的にバリアフリーに対応した配慮や各室に冷暖房が完備されている。

また、エレベーターを設置するなど全体的にバリアフリーに対応した配慮や各室に冷暖房が完備されている。

また、エレベーターを設置するなど全体的にバリアフリーに対応した配慮や各室に冷暖房が完備されている。

冷媒回収技術者登録講習会(冷媒回収推進・技術センター主催、日本冷凍空調設備工業連合会・県冷凍空調工業保安協会・青年部協賛)は22日、鹿児島市のポリテクセンタ



冷媒回収の具体例を学ぶ受講者
＝鹿児島市のポリテクセンター鹿児島で

試験結果は8月中旬頃、冷媒回収推進・技術センターから受験者本人に通知される予定。登録されたら、エレベーターを設置するなど全体的にバリアフリーに対応した配慮や各室に冷暖房が完備されている。



雨の中、側溝の土砂を取り除く参加者
＝菱刈町の現地で

菱刈建築組合(池之上博志会長)は24日、会員12社、約20人が参加して伊佐郡菱刈町の同町立福祉センターひしのみ苑や同町徳辺の町営住宅で、毎年恒例となったボランティア活動を実施した。当日はあいにくの雨と

菱刈建築組合(池之上博志会長)は24日、会員12社、約20人が参加して伊佐郡菱刈町の同町立福祉センターひしのみ苑や同町徳辺の町営住宅で、毎年恒例となったボランティア活動を実施した。当日はあいにくの雨と

また「ただ業者をお願いするだけではいけない」と同町土木課の末吉年信建築住宅係長も参加して共に汗を流していた。

同日の参加業者は次の通り。
(株)荒武工務店 (株)池上建設 上松建設(株)大城 (株)亀田建設 児玉工業(株)小山金物店 (株)竹内工務店 成政建設工業(株)鍋倉土木 森山工務店 (株)山口建築

大口建設業協組青年部、集団献血

地域住民とともに奉仕



そろいの法被姿で記念写真に納まる部員ら
＝大口市のプラッセだいわ大口店で

大口建設業協組青年部(瓜生島修部長)は22日、大口市のプラッセだいわ大口店で恒例の集団献血を行った。2月26日に続いて今年も2回目の実施。当日は梅雨の晴れ間の爽やかな青空となり、現地集合した部員はそろいの法被姿で手際良く会場を設営し、道行く人々に協力を呼びかけた。趣旨に賛同したプラッセだいわ大口店も、店内放送で買物客に案内するなど協力し、午前中だけでも大口市や菱刈町の住民40人以上が献血に訪れた。瓜生島部長は「毎年夏場に血液が不足すると聞いたことから始めた集団献血だが、部員自身も献血してくれるほど非常に熱心に活動してくれる。

この後、(株)かしま産業支援センターの迫一徳専務理事が「経営品質の時代」と題して講演。迫氏は「事業拡大だけを追求し、バランス感覚に欠け、順法精神に乏しい経営者は危ない」などと語り、同業・異業種の経営方針にも学ぶべきであると強調した。

施工業者は次の通り。
基本・実施設計(株)三島建築設計事務所▽建築本体(株)勝建設▽電気その他(株)栄光電設(株)原田電設 (株)矢野電気▽衛生(株)南開設備▽空調(株)大成空調(株)昇降機(株)三菱電機(株)

九州木材青壮年連鹿児島大会
業界の将来を真剣討議
「語ろう 見つけよう 憧れの明日」をテーマに第39回九州木材青壮年連大会鹿児島大会は22日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで開き、木材業界の位置付け、将来の大会は、木材業界発展と強調した。

約200人の参加者をグループ分けしてのテーブルディスカッションでは「自分達は、何を指すべきか」を主題に討議。木材業の復権を前提としながらも、「顧客ニーズを的確に把握した製品開発と効果的PRが必要」「環境適応、健康づくりをキーワードに」「相手の顔が見える営業展開を」などという活発な意見が出された。



活発な意見交換がなされた大会
＝鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで

また、会場では製材加工品、カットサンプル、製品カタログ等を展示して内覧会も行われた。